



## 2021年5月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年7月15日

上場会社名	三益半導体工業株式会社	上場取引所	東
コード番号	8155	URL	https://www.mimasu.co.jp/
代表者 (役職名)	代表取締役社長	(氏名)	細谷 信明
問合せ先責任者 (役職名)	専務取締役管理本部担当	(氏名)	八高 達郎
定時株主総会開催予定日	2021年8月26日	TEL	027-372-2011
有価証券報告書提出予定日	2021年8月26日	配当支払開始予定日	2021年8月27日
決算補足説明資料作成の有無	:無		
決算説明会開催の有無	:無		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年5月期の業績(2020年6月1日~2021年5月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	85,051	△7.6	6,085	2.6	6,027	7.1	4,133	6.7
2020年5月期	92,075	△3.2	5,930	5.0	5,626	2.7	3,874	1.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年5月期	128.68	—	6.3	6.2	7.2
2020年5月期	120.60	—	6.2	5.7	6.4

(参考)持分法投資損益 2021年5月期 — 百万円 2020年5月期 — 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期	94,135	66,680	70.8	2,075.67
2020年5月期	101,576	63,541	62.6	1,977.88

(参考)自己資本 2021年5月期 66,680 百万円 2020年5月期 63,541 百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年5月期	22,833	△16,916	△1,129	17,121
2020年5月期	22,261	△20,246	△1,097	12,333

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計			
2020年5月期	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 32.00	百万円 1,028	% 26.5	% 1.7
2021年5月期	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 —	円 銭 17.00	円 銭 33.00	百万円 1,060	% 25.6	% 1.6
2022年5月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —		% —	% —

(注)2022年5月期の配当予想額につきましては、未定であります。

### 3. 2022年5月期の業績予想(2021年6月1日~2022年5月31日)

2022年5月期の業績予想につきましては、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年5月期	35,497,183株	2020年5月期	35,497,183株
2021年5月期	3,372,221株	2020年5月期	3,371,224株
2021年5月期	32,125,382株	2020年5月期	32,126,269株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ①全般の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況となりましたが、経済活動が再開される中で、生産や輸出等に持ち直しの動きが見られました。

当社の主要なユーザーである半導体関連各社の設備投資は回復基調で推移し、全体の投資動向も期の後半から回復の動きが見られました。また、半導体シリコンウエハーの生産は、経済活動の再開に伴う半導体デバイス需要の増加を受け、コロナ禍の中でも堅調に推移いたしました。

このような経営環境の中で当社は、最先端加工技術の推進と低コスト化の両立を図るとともに、自社開発製品の拡販を積極的に進めるなど、総力を挙げて業績の向上に取り組みました。

この結果、売上高は850億5千1百万円と前期比7.6%の減収となりましたが、営業利益は60億8千5百万円(前期比2.6%増)、経常利益は60億2千7百万円(同7.1%増)、当期純利益は41億3千3百万円(同6.7%増)となりました。

#### ②セグメント別の概況

セグメント別売上高及び事業の概況は次のとおりであります。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高が含まれております。

#### 半導体事業部

当事業部におきましては、300mmウエハー(再生ウエハーを含む)を中心に生産は堅調に推移いたしました。そうした中で、更なる品質の向上と原価低減を推進いたしました。

この結果、当事業部の売上高は465億3千2百万円(前期比2.2%増)となりました。

#### 産商事業部

当事業部は自社開発製品及びその他の取扱商品の拡販活動に積極的に取り組みました。

しかしながら設備投資全体としては、コロナ禍の影響を受けて慎重な動きであったことから、自社開発製品及びその他の取扱商品ともに減収となりました。

この結果、当事業部の売上高は391億2百万円(前期比16.6%減)となりました。

#### エンジニアリング事業部

当事業部は開発部門としての役割に特化し、自社製品の開発を積極的に行い、産商事業部を通じて販売いたしました。

また、半導体事業部で使用する装置の開発や設計・製作にも意欲的に取り組みました。

そうした中で、当事業部のユーザー各社の設備投資は低調であったことから、売上高は32億3百万円(前期比44.7%減)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における総資産は、有形固定資産の減少等により、前事業年度末と比較して74億4千1百万円減少し、941億3千5百万円となりました。一方、負債合計は未払金の減少等により105億8千万円減少し、274億5千4百万円となりました。純資産合計は、利益剰余金の増加31億5百万円等により、666億8千万円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて47億8千7百万円増加し、171億2千1百万円となりました。

各活動別のキャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は228億3千3百万円（前期比5億7千1百万円増）となりました。これは仕入債務の減少20億1千8百万円や法人税等の支払8億3千4百万円等による資金の減少があったものの、税引前当期純利益60億2千7百万円や減価償却費165億5百万円、売上債権の減少30億9千8百万円等により資金が増加したことによるものです。

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は169億1千6百万円（前期比33億2千9百万円減）となりました。これは当事業年度に実施した設備投資により取得した有形固定資産の支払165億6千8百万円等があったことによるものです。

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

当事業年度において財務活動の結果使用した資金は11億2千9百万円（前期比3千2百万円増）となりました。これは配当金の支払10億2千6百万円等があったことによるものです。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が世界経済に与える影響が懸念されるものの、わが国経済は各種経済対策や海外経済の改善により、緩やかに持ち直しの動きが続くものと予想されます。

そうした中で300mmシリコンウエハーの需要は、好調なロジック向けに続いてメモリー向け需要の回復も見込まれており、中長期的に高水準の生産が継続されるものと予想されます。また、足元では世界的な半導体不足の影響等により当社を取り巻く環境が大きく変化しており、現時点で今後1年間の業績予想を合理的に算定することが困難であることから、次期の業績予想は未定といたしました。

なお、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、業績の向上と株主の皆様への利益配分をともに経営の重要課題と位置付けており、経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、継続的な安定配当を実現していくことを基本方針としております。内部留保資金につきましては、今後の成長へ向けた事業強化のために有効投資いたします。

当期の期末配当金は、先に行いました中間配当金に比べ1円増配の1株につき17円を予定しております。これにより、当期の年間配当金は前期に比べ1円増配の1株当たり33円となります。

なお、次期の年間配当金につきましては、現時点において業績予想値の算定が困難であることから未定とさせていただきます。

配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R S (国際財務報告基準) の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年5月31日)	当事業年度 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,333	23,121
受取手形	1,220	897
売掛金	26,087	23,312
商品及び製品	1,053	774
仕掛品	1,007	1,405
原材料及び貯蔵品	2,398	2,623
前渡金	230	152
前払費用	794	794
その他	4	1
貸倒引当金	△4	△2
流動資産合計	51,126	53,081
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	23,545	22,593
構築物(純額)	794	774
機械及び装置(純額)	16,397	8,782
車両運搬具(純額)	54	43
工具、器具及び備品(純額)	654	811
土地	1,951	1,974
建設仮勘定	3,911	3,121
有形固定資産合計	47,308	38,100
無形固定資産		
ソフトウェア	346	404
その他	788	532
無形固定資産合計	1,135	936
投資その他の資産		
投資有価証券	361	447
長期前払費用	177	120
繰延税金資産	1,381	1,362
その他	86	86
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,006	2,016
固定資産合計	50,450	41,054
資産合計	101,576	94,135

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年5月31日)	当事業年度 (2021年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	1,219	845
買掛金	19,065	17,421
1年内返済予定の長期借入金	100	—
未払金	13,336	3,155
未払費用	1,557	1,479
未払法人税等	387	1,472
前受金	234	129
預り金	95	40
役員賞与引当金	85	86
製品保証引当金	66	69
その他	872	1,890
流動負債合計	37,020	26,590
固定負債		
退職給付引当金	849	698
資産除去債務	5	5
その他	160	160
固定負債合計	1,015	864
負債合計	38,035	27,454
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,824	18,824
資本剰余金		
資本準備金	18,778	18,778
資本剰余金合計	18,778	18,778
利益剰余金		
利益準備金	689	689
その他利益剰余金		
別途積立金	7,900	7,900
繰越利益剰余金	22,058	25,164
利益剰余金合計	30,648	33,754
自己株式	△4,767	△4,770
株主資本合計	63,482	66,585
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	58	109
繰延ヘッジ損益	0	△14
評価・換算差額等合計	58	94
純資産合計	63,541	66,680
負債純資産合計	101,576	94,135

## (2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当事業年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
売上高	92,075	85,051
売上原価	81,310	73,998
売上総利益	10,765	11,052
販売費及び一般管理費	4,834	4,967
営業利益	5,930	6,085
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	12	10
仕入割引	7	7
固定資産売却益	1	20
その他	23	31
営業外収益合計	47	71
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産除売却損	334	128
その他	17	0
営業外費用合計	352	128
経常利益	5,626	6,027
税引前当期純利益	5,626	6,027
法人税、住民税及び事業税	1,210	1,888
法人税等調整額	541	5
法人税等合計	1,751	1,894
当期純利益	3,874	4,133

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計			
				別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	18,824	18,778	689	7,900	19,180	27,769	△4,766	60,605	
当期変動額									
剰余金の配当					△995	△995		△995	
当期純利益					3,874	3,874		3,874	
自己株式の取得							△1	△1	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	2,878	2,878	△1	2,877	
当期末残高	18,824	18,778	689	7,900	22,058	30,648	△4,767	63,482	

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	58	1	59	60,665
当期変動額				
剰余金の配当				△995
当期純利益				3,874
自己株式の取得				△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△0	△0	△1	△1
当期変動額合計	△0	△0	△1	2,875
当期末残高	58	0	58	63,541

当事業年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計			
				別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	18,824	18,778	689	7,900	22,058	30,648	△4,767	63,482	
当期変動額									
剰余金の配当					△1,028	△1,028		△1,028	
当期純利益					4,133	4,133		4,133	
自己株式の取得							△2	△2	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	3,105	3,105	△2	3,103	
当期末残高	18,824	18,778	689	7,900	25,164	33,754	△4,770	66,585	

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	58	0	58	63,541
当期変動額				
剰余金の配当				△1,028
当期純利益				4,133
自己株式の取得				△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	51	△14	36	36
当期変動額合計	51	△14	36	3,139
当期末残高	109	△14	94	66,680

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当事業年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	5,626	6,027
減価償却費	18,585	16,505
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	△1
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	1
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1	2
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△478	△150
受取利息及び受取配当金	△15	△11
支払利息	0	0
為替差損益 (△は益)	0	△0
有形固定資産除却損	70	49
売上債権の増減額 (△は増加)	△855	3,098
たな卸資産の増減額 (△は増加)	952	△343
仕入債務の増減額 (△は減少)	△470	△2,018
その他	830	497
小計	24,240	23,655
利息及び配当金の受取額	15	12
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,992	△834
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,261	22,833
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△12,000	△12,000
定期預金の払戻による収入	12,000	12,000
有形固定資産の取得による支出	△19,507	△16,568
有形固定資産の売却による収入	13	20
無形固定資産の取得による支出	△475	△266
投資有価証券の取得による支出	△15	△15
その他	△261	△86
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,246	△16,916
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△100	△100
自己株式の取得による支出	△1	△2
配当金の支払額	△995	△1,026
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,097	△1,129
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	917	4,787
現金及び現金同等物の期首残高	11,415	12,333
現金及び現金同等物の期末残高	12,333	17,121

(5) 財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「半導体事業部」、「産商事業部」及び「エンジニアリング事業部」の3事業部体制で事業展開を行っており、当該3事業部を報告セグメントとしております。

「半導体事業部」は、プライムウエハーや再生ウエハーなどの半導体材料の加工及び販売を行っております。

「産商事業部」は、計測器、試験機その他精密機器等の販売ならびにそれらに付帯する商品及びエンジニアリング事業部による製作品の販売を行っております。「エンジニアリング事業部」は、半導体関連自動化装置等の開発及び設計・製作を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	半導体事業部	産商事事業部	エンジニア リング事業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,533	46,541	—	92,075	—	92,075
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	363	5,797	6,165	△6,165	—
計	45,538	46,905	5,797	98,240	△6,165	92,075
セグメント利益	4,356	1,331	1,000	6,688	△758	5,930
セグメント資産	62,031	18,501	3,877	84,410	17,166	101,576
その他の項目						
減価償却費	18,534	15	12	18,562	22	18,585
減損損失	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	22,630	17	10	22,658	26	22,684

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△758百万円は、セグメント間取引消去であります。
  - (2) セグメント資産の調整額17,166百万円は、セグメント間取引消去△3,398百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産20,565百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現金及び預金)及び管理部門に係る資産等であります。
  - (3) その他の項目の減価償却費の調整額22百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額26百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。
- 2 セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。
  - 3 エンジニアリング事業部は開発部門としての役割に特化しており、販売に関しては産商事事業部を通じて行うため外部顧客への売上高は発生しておりません。

当事業年度(自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	半導体事業部	産商事業部	エンジニア リング事業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	46,529	38,522	—	85,051	—	85,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	579	3,203	3,786	△3,786	—
計	46,532	39,102	3,203	88,838	△3,786	85,051
セグメント利益	5,071	894	551	6,517	△432	6,085
セグメント資産	53,321	14,543	1,962	69,826	24,308	94,135
その他の項目						
減価償却費	16,445	18	15	16,479	26	16,505
減損損失	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	7,089	24	26	7,140	7	7,148

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△432百万円は、セグメント間取引消去であります。
  - (2) セグメント資産の調整額24,308百万円は、セグメント間取引消去△1,101百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産25,410百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現金及び預金)及び管理部門に係る資産等であります。
  - (3) その他の項目の減価償却費の調整額26百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額7百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。
- 2 セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。
  - 3 エンジニアリング事業部は開発部門としての役割に特化しており、販売に関しては産商事業部を通じて行うため外部顧客への売上高は発生しておりません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当事業年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
1株当たり純資産額	1,977.88円	2,075.67円
1株当たり当期純利益	120.60円	128.68円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2020年5月31日)	当事業年度 (2021年5月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	63,541	66,680
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	63,541	66,680
普通株式の発行済株式数(千株)	35,497	35,497
普通株式の自己株式数(千株)	3,371	3,372
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	32,125	32,124

3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当事業年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(百万円)	3,874	4,133
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	3,874	4,133
普通株式の期中平均株式数(千株)	32,126	32,125

(重要な後発事象)

該当事項はありません。